プロジェクト：

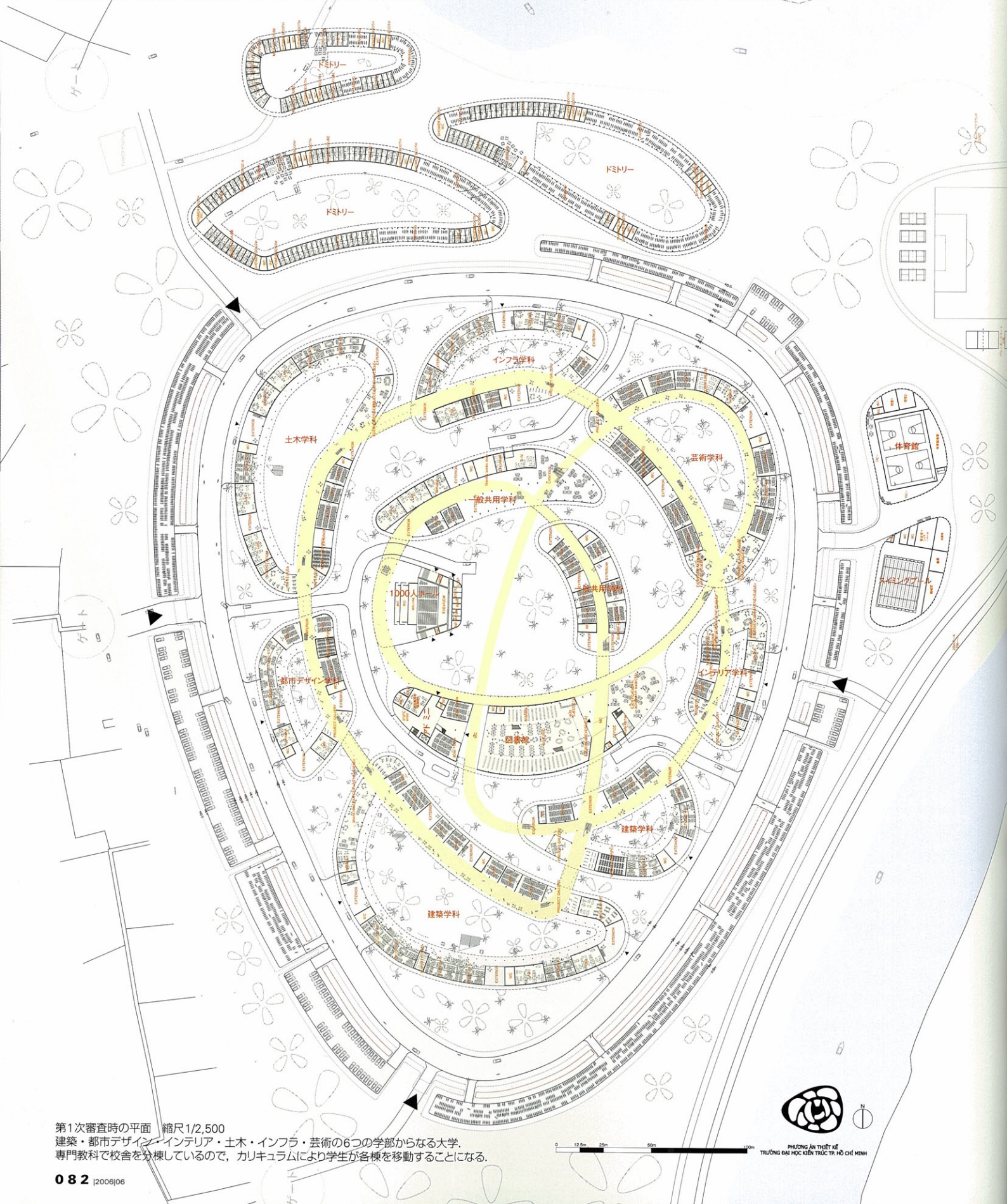
ホーチミン建築大学

設計　小嶋一浩／CAt＋Vo Trong Nghia＋佐貫大輔＋東京理科大学小嶋研究室

所在地　ベトナム，ホーチミン

HO CHI MINH UNIVERSITY OF ARCHITECTURE

architect: KAZUHIRO KOJIMA/ CAt + VO TRONG NGHIA + DAISUKE SANUKI + KOJIMA LAB., TOKYO UNIVRTSITY OF SCIENCE



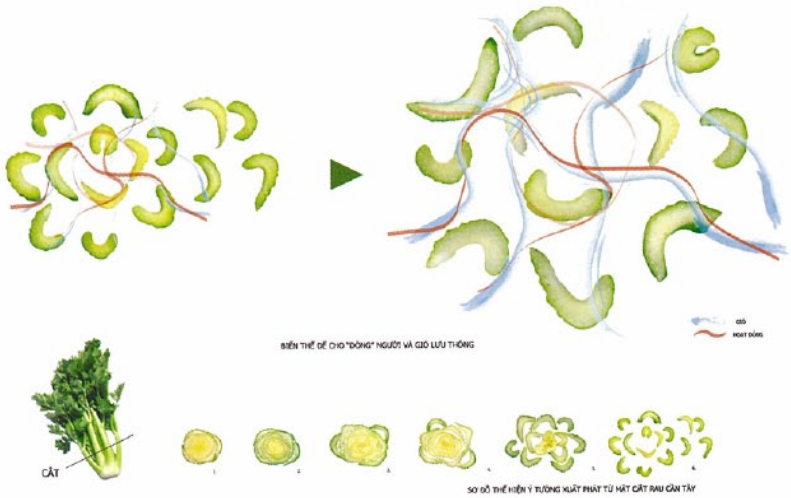
第1次審査時の平面　縮尺1/2,500

建築・都市デザイン・インテリア・土木・インフラ・芸術の6つの学部からなる大学．

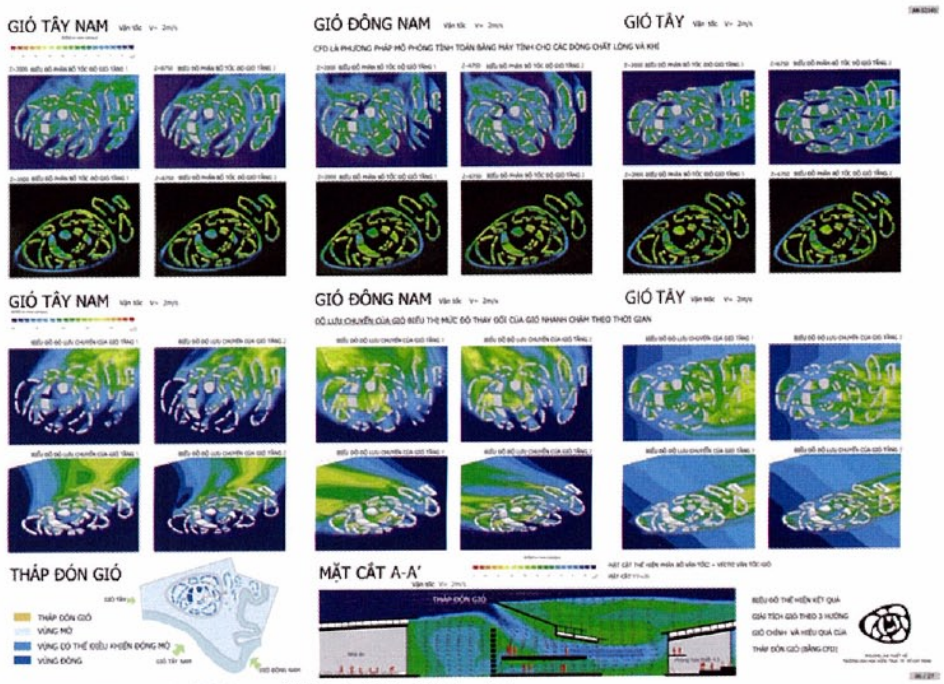
専門教科で校舎を分棟しているので，カリキュラムにより学生が各棟を移動することになる．

第2次審査時の模型．1次案よりも，周辺の川に向かって開放的な配置となっている．

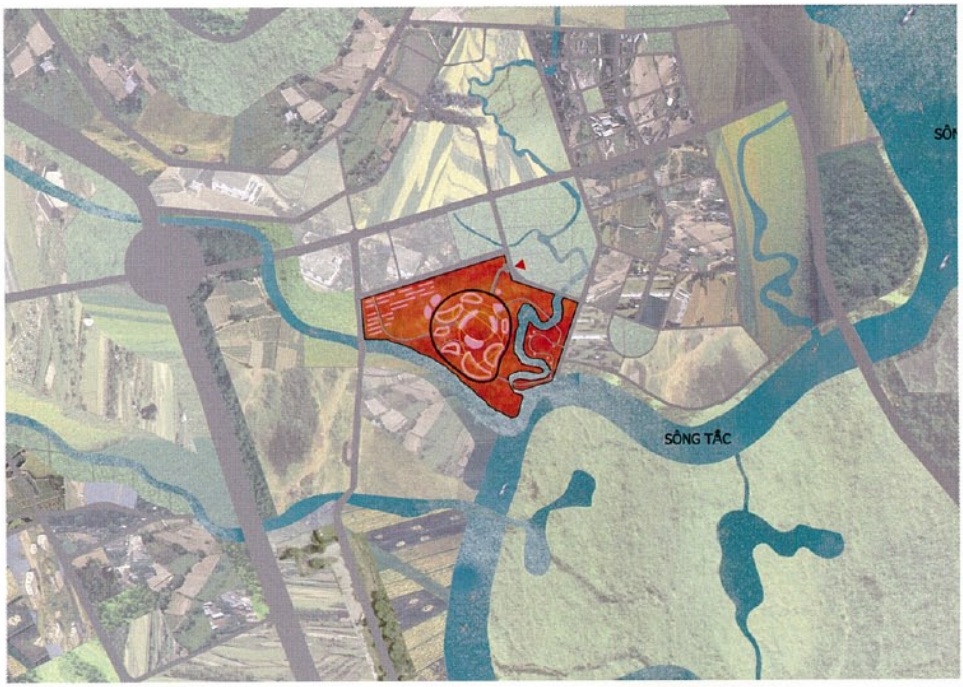
大学キャンパス内部模型．写真撮影：小林浩志．



セロリをモチーフとしたコンセプチュアルスケッチ.



設計段階で風のCFD解析を行い，自然通風で快適な環境をつくる.



配置．川沿いの湿地帯を敷地としている.

ベトナム南部のホーチミン市近郊・メコンデルタの辺，マングローブの群生する低湿地帯に計画される，建築・都市デザイン・インフラ・建設・インテリア・美術の6つの学部を持つ建築大学の新キャンパス．川やクリークに囲まれる敷地に護岸工事を施すのではなく，メインキャンパスを周囲より高くした輪中（リングロード）で囲って，できる限り今の風景を保全する．同じベトナムでもハノイと異なり，年間を通して風があり，川の水面を越えてくる風に当たっていれば体感的に気持ちよい．それゆえ，建築の配置はCFD解析による風の流れとアクティビティの流れから決定する．「セロリ」の断面を拡散させたかたちがモチーフになっている．「フルイド・ダイレクション（流れのデザイン）」である．完成すれば，サステナビリティ・地球環境を体感的に学ぶ世界でも希有なキャンパスとなる.

（小嶋一浩／CAt）

設計　建築　小嶋一浩／CAt＋Vo Trong Nghia
＋佐貫大輔＋東京理科大学小嶋研究室
設計協力　中央アーキ　まんぼう　STARBURSTAR
構造　オーク構造設計　新谷眞人
設備　科学応用冷暖研究所　髙間三郎
CFD解析　環境シミュレーション　阪田升
敷地面積　364,000m²
建築面積　54,700m²
延床面積　86,600m²
階数　地上2階
構造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造
竣工予定　2012年